

# 未来に広がる交流の輪

## 交流のはじまり

### エクアドル共和国

鳥取市は、公式キャンプ地として、エクアドル共和国サッカーチームを、暖かく迎え入れました。その功績がたたえられ、鳥取市民に対して同共和国から国家功労章が授与されました。

同章は、ノボア大統領とメラウ外務大臣の自筆署名により、発令されたものです。授与式は、六月二十八日、仁風閣謁見の間で、片山鳥取県知事や市議会議員など関係者が見守る中



国家功労章



行われ、特使として来鳥したモス通商産業水産大臣とアピラ駐日大使が岸本晟前助役に勲章と勲記を手渡しました。この受章は、国際交流を進めてきた本市にとって、大きな財産であり、新たな国際交流のはじまりとなるものです。

## 交流の深まり

### ドイツ・ハーナウ市

六月二十六日から二十九日まで、姉妹都市交流訪問団（団長鳥取市長、団員十五人）がドイツハーナウ市を訪問しました。訪問団は、メルヘンフェスティバルの視察、市立病院、幼稚園、中・高等学校の訪問など多彩な交流を行いました。このことは、ハーナウ市の地元新聞にも大きく取り上げられ、鳥取市への関心の高さを示すものとなりました。

今回の訪問では、本市で昨年十一月に交わした姉妹都市提携協定書を、再度ハーナウ市の要請に答え再署名したほか、同市で開催中の



姉妹都市提携協定書に署名する両市長

「ハーナウ庭園博覧会」会場で記念植樹や、記念碑の設置などを行いました。さらに、グリム兄弟メルヘンフェスティバルの鳥取公演、両市市立病院間の医療研修、都市緑化フェア（平成十九年に鳥取市で開催予定）へのハーナウ市造園関係者の参加などの実現に向け、積極的な意見交換が行われました。交流の輪が今後さらに広がることを期待されます。